

第二百四十八話 女性だけの陸軍部隊：女子通信隊

近代戦は総力戦の時代である。国家の持てる全ての力を作戦に集中することが求められ、戦争は男のものだとの常識も覆された。現在は軍事組織のあらゆる分野への女性の拡大進出が目覚ましい。大東亜戦争時に、我が国には女性だけの陸軍部隊があったと云う。彼女等は、軍人・兵士ではなく軍属であったが、斯様な部隊が存在したことは忘れてはなるまい。

1 第二次世界大戦における女性兵士等

女性が戦場で兵士として活躍したのは第二次世界大戦頃からと言われている。

米国：1940年ごろからWAC、WAVES等

英国：米国と同様の組織、女性を徴兵した唯一の国、主に後方支援や看護の分野

ソ連：ロシア革命当初の干渉戦から女性兵士を積極的に採用、第一線勤務

中には、史上最高の女性スナイパーと称される者も居た。

2 日本における女性の活用策

(1) 概要

独身女性を対象とした「勤労報国隊」(1941/11/12)が拡大され、1944/8/22「女子勤労挺身隊」が正式に発足した。

この女子勤労挺身隊が、1945/3/23 民間防衛に任ずる国民義勇隊(男女を含む)に改組され、それが終戦間際の1945/6/22に、軍の後方支援を主任務とする国民義勇戦闘隊(男女を含む)と拡大された。一億総玉砕を具現するものとされた。

(2) 国民義勇戦闘隊

1945/6/22 「義勇兵役法」公布・施行

国民義勇隊とは別組織とされるが、それを基礎として編成されたため共通的である。各軍管区司令官が陸海軍大臣の許可を得て組織移行

主任務：生産や輸送、築城、防空、復旧、救護などの後方支援

実編成の義勇戦闘隊：鉄道義勇戦闘隊(7/23 発令)、船舶義勇戦闘隊(8/1 発令)、船舶救難戦闘隊(8/5 発令)の3つとされる。動員数約200万人

本土決戦が生起しなかったために、実際に動員・編成されたのは樺太であり、ソ連の対日参戦による樺太での実戦闘に参加している。

(3) 女子通信隊 (情報僅少でした。) 女性の憧れの的

1942年12月設立 敵機の襲来状況を空襲警報発令部隊に報告

各軍管区に設置? 東部軍：100人一個小隊の4個小隊編成

身分は陸軍に雇用された民間人である「軍属」。

ダブルボタンの上着にキュロットスカート、編み上げ靴が制服として支給

勤務は6時間、24時間4交代制



「乙女たちの戦争 もう授業はない…「帝都防空」の青春から転載」
(<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-738042.html>)

(了)